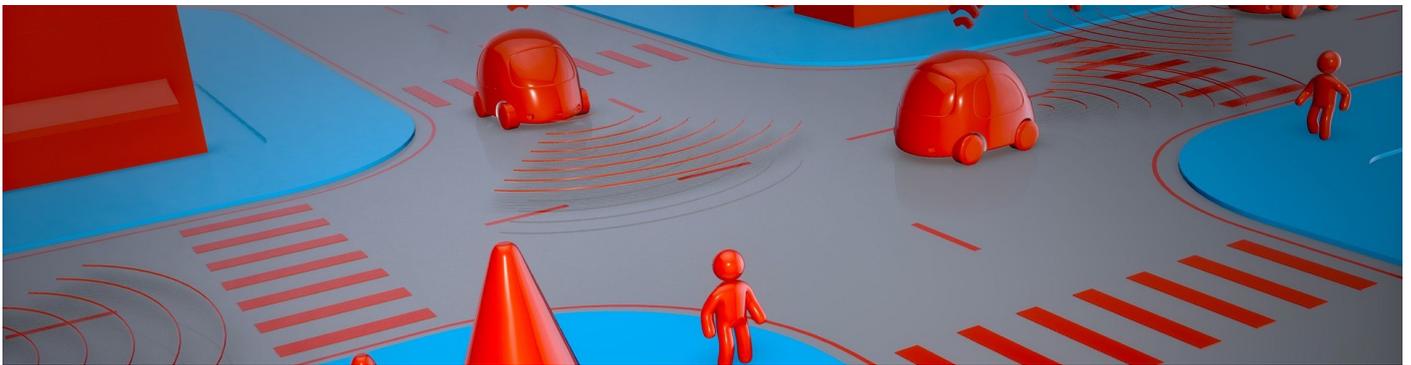


# コミュニティのためのモビリティ

## ー MaaSや自動運転の現状と課題を踏まえてー



2019年10月30日（水） 18:30–20:00

名古屋工業大学 NITech Hall 2階 ラーニングコモンズ



■講師：西堀泰英

公益財団法人豊田都市交通研究所  
主席研究員。

大阪府生まれ。2001年に中央復建  
コンサルタンツ株式会社に入社。  
道路や公共交通などの交通施設計  
画や交通まちづくりの現場で業務  
を担当。2015年より現職。人が移  
動することの効果や、移動しやす  
いまちを対象に研究。自動運転や  
MaaS (Mobility as a Service) など  
のテクノロジーが私たちの暮らし  
をよりよくするために必要なこ  
とについての研究にも取り組む。



■鼎談者①：出口志穂

フリーファシリテーター。

京都出身。大学卒業後、みずほ  
銀行、京都大学で勤務。結婚を  
経て名古屋へ転居し、名古屋工  
業大学で勤務。2児を子育てし  
ながら、2度のフランス滞在を  
経て会計コンサル事務所勤務。  
名古屋都市センターまちづ  
くりびととして、多くの会議・  
ワークショップでグループファ  
シリテーターを務める。元・名  
古屋市民経済局地域コミュニ  
ティ活性化支援員。



■鼎談者②：三矢勝司

名古屋工業大学コミュニティ創  
成教育研究センター研究員（非  
常勤）／NPO岡崎まち育てセン  
ター・りた事務局次長。

岡崎市出身。千葉大大学院に  
て、市民参加型まちづくりを学  
ぶ。2006年にNPO岡崎まち育て  
センター・りたを設立した（国  
土交通大臣賞を受賞）。名工大  
コミュニティ創成教育研究セン  
ター・特任助教（2012～2014  
年）を経て、2015年よりりたに  
復帰。博士（工学）。

車に乗れない高齢者が増える中、自動運転や  
様々な交通手段をサービスとして統合する  
「MaaS (Mobility as a Service) 」といった考  
え方に注目が集まっています。こうした次世代  
型モビリティがコミュニティに対して如何に貢  
献しうるのかを考えるワークショップです。

西堀泰英氏（豊田都市交通研究所）が講師と  
して次世代型モビリティの現状と課題を概説し  
ます。その後、西堀氏と出口志穂氏（コミュニ  
ティ活動支援）及び三矢勝司（コミュニティ創  
成教育研究センター）による鼎談等を通じて、  
コミュニティのためのモビリティを考えます。

■お申込み方法：下記にて「氏名、所属、連絡先」  
を記載の上お申し込みください（10/28締切）。

【申込】HPの申込フォームをお願いします。

<http://community.web.nitech.ac.jp/>

【問合せ】community-c@lab-ml.web.nitech.ac.jp

※資料準備の都合上、事前申し込みにご協力  
ください。いただいた個人情報は、当セン  
ターの情報提供に使わせていただきます。



【主催】

名古屋工業大学

コミュニティ創成教育研究センター